



『よろずお助け隊』の皆さまのご活躍を紹介します！

「基山小よろずお助け隊」とは、学校生活における様々な学びの場に地域の方々に参画していただき、子供たちの学びを充実させるため、この学校運営協議会で発足した地域の方々のお助け隊です。昨年度は学年園の増設、そして今年度は、「図書館電子化に向けた作業」「高学年ミシン学習」においてよろずお助け隊の皆様に大いにご活躍いただいています。その様子をご紹介します。

図書館ボランティア

学校図書館電子化に伴う作業(書籍の拭き上げ、バーコードシール貼り、書架の整理等)でしたが、8月の猛暑の中に13名もの保護者様の皆様(ご祖母様やお姉さんを含む)にご協力をいただきました。保護者様のみならず、学校給食センターの職員の皆様にもお力添えをいただきました。夏季休業中の職員作業だけでは間に合わないほどの蔵書の多さでしたが、地域の皆様や保護者の皆様のご協力により、無事、電子化に向けた作業を終えることができました。この秋より本校図書館はバーコードによる手続きが可能となり、図書室に楽しそうに足を運ぶ子供たちの姿が見られ嬉しく思っています。

また、学校図書館が使えないこの作業期間中、町立図書館様のご厚意により、子供たちは図書の時間を町立図書館にて過ごすことができました。町立図書館の皆様にも心よりお礼を申し上げます。



ミシンボランティア

高学年の家庭科ではミシンを使った学習があります。5年生がエプロン、6年生がナップザックを製作しますが、児童のほとんどは5年生でのこの学習が初めてのミシンとの出会いになります。

例年、授業を担当する教師が一人で製作過程、ミシンの使い方等を指導していますが、学習中にミシンの糸が絡まったり、針が折れたり、上糸と下糸の調節がうまくいかなかったり・・・と、突発的な出来事に対応しつつ、学習を進めていました。

そんな中、この度！力強い助っ人として、学校運営協議会委員の天本様のお声掛けに賛同してくださった「ミシンボランティア」の皆様が約2ヶ月に渡り、家庭科の学習のお手伝いをしてくださいました。総勢13名もの皆様です。家庭科を担当している本校職員からも授業後、「とても助かりました！」「子供たちもうれしそうでした！」と、感謝の声がたくさん聞かれました。おかげさまで、5年生、6年生共に立派な作品が出来上がっています。6年生は自分で作ったこのナップザックを持って17日、18日の長崎への修学旅行へと向かいます。ミシンボランティアの皆様、本当にありがとうございました！

(また来年もよろしくお願ひします)



運動会受付ボランティア

10月22日(土)に、無事本校の運動会を終えることができました。コロナ禍のため、世帯お二方までの観覧制限をさせていただいておりましたが、そのことに伴い当日の受付場所が必要でした。学校運営協議会会長でもある中菌PTA会長の呼び掛けのもと、「受付ボランティア」として22名の本校保護者様が名乗り出てくださいました。

お子様の出番直前まで受付に立ってくださったり、お子様の出番が終わったからと、その後ずっと受付を引き受けてくださったりされる姿に心から感謝しました。

「基山小 よろずお助け隊」は、随時募集中です。

今後とも、地域の皆様、保護者の皆様、「基山小学校コミュニティ・スクール」をどうぞよろしくお願ひいたします。お問い合わせ(基山小:92-2431 大坪まで)

